

令和2年度 第1回自己評価委員会 議事録

実施日：令和2年4月20日（月）8：30～10：30

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティール専門学校 職員室

出席者：委員 池山英一（校長）
山口 孝（理容科教員・美容科教員・広報主任）
森山郁子（事務主任）
高橋秀典（美容科教員）
水野 亮（美容科教員）
磯部臣史（理容科教員）
佐藤真弥（理容科教員）
神谷貴之（理容科教員）
猪股奈津子（事務職員）

順不同

委員会次第（概要）

1. 開会

（1） 学校長挨拶

2. 議事

事前に会議出席予定者に回覧した（メール）別紙自己評価（案）を基に会議を進行

（2） 自己評価（案）について報告

（3） 自己評価（案）に対する意見及び質問

3. 閉会

上記委員会次第「議事進行」概略について

(1) 専修学校における学校評価・情報公開について

- ・山口より、別紙添付資料に基づき説明。令和元年8月14日（31学振第1124号）付通達で、平成28年度に職業実践専門課程に認定された専門課程を対象にフォローアップを求められており、アリアーレも近いうちにフォローアップする必要が出てくる旨報告する。

(特に質問等はなし。)

(2) 自己評価(案)について報告

- ・山口より、別紙自己評価(案・メールにて回覧済)に基づき、学校の教育目標から31年度(令和元年度)に定めた目標計画、評価項目(1)教育理念・目標から(1.1)国際交流について評価点数や評価点数に至った根拠を説明する。

(3) 教職員各自より出された31年度の自己評価(案)に対する主な意見や声

(1) 教育理念・目標

- ・毎日朝礼でスローガン「全学一体 一致団結」及び「三者一体 物事を判断するときに、学生・学校・職員の三者にとって良い事かを考える。」を唱和している。

(2) 学校運営

- ・改正私立学校法が施行され、役員に対する報酬、第三者に対する損害賠償責任等寄付行為の改正を行い、情報の公表をする。また予算及び事業計画並びに事業に関する中期的な計画の作成が義務化され、短期・中期・長期計画の作成をする。
- ・法令(コンプライアンス)違反通報1件あり。
- ・職員室内をフリーアドレス化。

(3) 教育活動

- ・高等教育無償化申請に伴い、シラバスを今まで以上に具体的かつ明確にした。また学生の成績評価の方法をHP上に公開した。
- ・学校教育とサロン教育のギャップを埋めるために企業連携をしている。

- ・教育の健全化がなされているから、職業実践専門課程認定校に選ばれていると考えてよいと思う。

(4) 学修成果

- ・3月昼間生は理容科、美容科とも国家試験は100%の合格率であり、また昨年9月の通信生も美容科は80%を超えた。
- ・卒業認定に係る方針をHPやパンフレットに掲載するようにした。

(5) 学生支援

- ・外国人留学生の学校見学が多く見られた。日本で培った理美容技術を活かし、母国に戻って活躍できることを目標にしている。
- ・教育センター及び理美容組合が主導する「産学連携就職情報交換事業」についての期待感。
- ・高等教育の修学支援新制度のスタート
- ・文科省委託事業 「職業実践専門課程に相応しいポートレートシステムの要件定義」に参加し、学修に必要な情報を効率的かつ、職業教育の国際通用性にも配慮したデータベースシステムの開発に協力した

(6) 教育環境

- ・海外研修が新型コロナウイルスの影響で延期になった。
- ・名古屋市 千種消防署より消防士4名が来校され、救命講習会を開催した。

(7) 学生の受け入れ募集

- ・平成30年のオープンキャンパス来校者と比較すると、今年度は総数も高校3年生の人数も増えた。LINEの更なる活用を検討している。
- ・不登校、引きこもり、高校中退者向けのガイダンスに参加し、義務教育後の進路情報の提供をする。
- ・卒業後の学修成果をパンフレット上でも見れるようにした。
- ・他者から見た自分を理解するため、昨年度同様、教育媒体様において学校訪問をしてもらう。
- ・「個別の入学資格審査」制度（中学校卒業生または高校中退者等の専門課程入学）の準備をする。

(8) 財務

- ・指導内容に対する担当教員、その授業時間数がはっきりしないため予算以上に講師給が膨らんでいる。

- ・教育の生産性を生徒、学校双方のために上げる必要がある。

(9) 法令等の厳守

- ・特に意見なし

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・専門学校は社員教育の受け皿という考えがあってもいい。
- ・「春日井ワイワイカーニバル」(5月12日)に参加。

(11) 国際交流

- ・グローバル化に対応した人材養成のため、日本語教育機関等と連携しながら留学生受入れに向けた努力をした。
- ・日本の理容・美容の高い理想・文化・技術の海外への移転とクールジャパン人材の受け入れに努力する。

※自己評価(案)と以上の意見を基に、自己評価が出来上がる。

記録：山口